

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	クリエイティブアーツ	
科目基礎情報							
科目番号	0008			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築社会デザイン工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書は特に使用しない。教材は各教員が準備する。						
担当教員	時松 雅史,東田 洋次,道園 達也,藤本 洋一,関 文雄,岩下 いずみ,濱田 さやか,上土井 幸喜,五十川 読,小鉢 暢夫,四宮 一郎,福井 由美子,磯谷 政志,小島 俊輔,村田 美友紀						
到達目標							
・ 様々な手法の活用と自由な発想により、アイデアを形にすることができる。 ・ 他者とコミュニケーションを図りながら、主体的に取り組むことができる。 ・ 課題を完成させるまで、意欲的に取り組むことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	優れたアイデアを形にして、完成度の高い作品に仕上げるができる			考えたこと、想像したことを形にして表現することができる		考えたこと、想像したことを形にして表現することができない	
評価項目2	担当教員や受講生と頻繁に相談、あるいは協働しながら、課題の完成に向けて取り組むことができる			担当教員や受講生と相談。あるいは協働しながら、課題に取り組むことができる		担当教員や受講生と相談、あるいは協働しながら、課題に取り組むことができない	
評価項目3	制作予定時間を十二分に使って、意欲的に自分の課題に取り組むことができる			制作予定時間内で、自分の課題に取り組み、完成させることができる		製作時間内で、自分の課題を完成し、提出することができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	クリエイティブアーツとは、アイデアを形にする様々な手法である。本科目では、様々な活動を通して、仲間とともに、アイデアを形にする楽しさ、喜びを味わうことで、創造的な技術者になるための素質を養う。						
授業の進め方・方法	複数のコースから、学生が4つのコースを選択し、それぞれの教員の指導に従って活動を行う。原則、1コース四半期とし、与えられた課題を完成、提出させる。						
注意点	各コースの課題を評価対象とするので、必ず提出期限内に課題を完成させた上で、担当教員に提出すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・コースの選択		各コースの内容を確認する		
		2週	コース1の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる		
		3週	コース1の制作②		同上		
		4週	コース1の制作③		同上		
		5週	コース1の制作④		意欲的に取り組むことができる		
		6週	コース1の制作⑤		同上		
		7週	コース1の制作⑥		同上		
		8週	コース1の課題提出				
	2ndQ	9週	コース2の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる		
		10週	コース2の制作②		同上		
		11週	コース2の制作③		同上		
		12週	コース2の制作④		意欲的に取り組むことができる		
		13週	コース2の制作⑤		同上		
		14週	コース2の制作⑥		同上		
		15週	コース2の制作⑦		同上		
		16週	コース2の課題提出				
後期	3rdQ	1週	コース3の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる		
		2週	コース3の制作②		同上		
		3週	コース3の制作③		同上		
		4週	コース3の制作④		同上		
		5週	コース3の制作⑤		意欲的に取り組むことができる		
		6週	コース3の制作⑥		同上		
		7週	コース3の制作⑦		同上		
		8週	コース3の課題提出				
	4thQ	9週	コース4の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる		
		10週	コース4の制作②		同上		
		11週	コース4の制作③		同上		

	12週	コース4の制作④	同上
	13週	コース4の制作⑤	意欲的に取り組むことができる
	14週	コース4の制作⑥	同上
	15週	コース4の制作⑦	同上
	16週	コース4の課題提出	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前9,前10,後1,後2,後9,後10
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	前4,前11,後3

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	80	0	0	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	0	20